

令和6年度 川崎市公共事業評価審査委員会

社会資本総合整備計画 事後評価について

「川崎市内における防災安全を考慮した交通空間
の整備（防災・安全）」

「川崎市内における防災・減災に資する無電柱化の
推進（無電柱化推進計画支援）」

令和6年11月29日

川崎市建設緑政局 道路整備課
施設維持課

目 次

※「川崎市内における防災安全を考慮した交通空間の整備（防災・安全）」は、以下「防災安全」という
※「川崎市内における防災・安全に資する無電柱化の推進（無電柱化推進支援計画）」は、以下「無電柱化」という

		ページ
1 計画策定の背景	1－1 課題・取組	・・・ 1
	1－2 社会資本総合整備計画の作成	・・・ 2
2 計画の概要	2 社会資本総合整備計画 防災・安全交付金①（防災安全）	・・・ 3
	社会資本総合整備計画 防災・安全交付金②（無電柱化）	・・・ 5
3 『防災安全』の実施状況	3－1 事業内容	・・・ 7
	計画期間中の実施予定	・・・ 8
	3－2 進捗状況	・・・ 9
	3－3 目標達成状況	・・・ 11
4 『無電柱化』の実施状況	4－1 事業内容	・・・ 13
	計画期間中の実施予定	・・・ 14
	4－2 進捗状況	・・・ 14
	4－3 目標達成状況	・・・ 15
5 事業者・市民等意見募集の結果	5－1 事業者アンケートの結果	・・・ 16
	5－2 市民アンケートの結果	・・・ 17
6 総合的な所見及び今後の方針	6－1 防災安全	・・・ 18
	6－2 無電柱化	・・・ 18

1 計画策定の背景

1－1 課題・取組

本市が管理する道路施設は、高度経済成長期の人口増加に伴う市街地の拡大や自動車交通の増加とともに整備されており、今後はこれらの施設の多くが更新時期を迎えるため、計画的な対策が必要

→ 取組：老朽化対策

災害リスクを軽減し、市民の生命や財産を守る観点から、道路施設を含む社会インフラの機能維持が必要

→ 取組：事前防災・減災対策

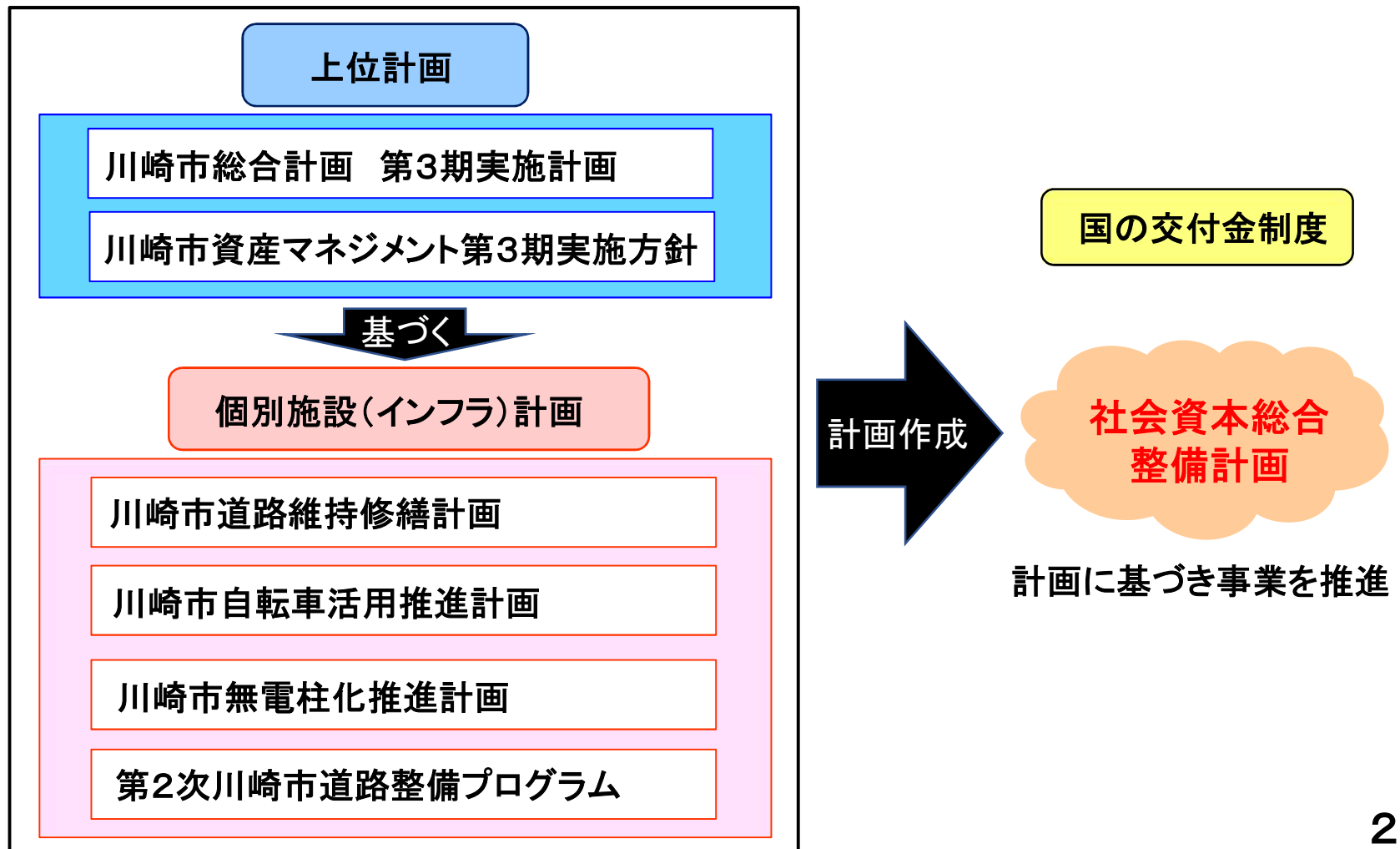
交通安全施設等の整備強化に加え、歩道の設置・拡充、自動車・自転車・歩行者の通行空間の分離、無電柱化、踏切対策等により安全・安心な利用空間の整備が必要

→ 取組：生活空間の安全確保の取組

1 計画策定の背景

1-2 社会資本総合整備計画の作成

本市の上位計画に基づき、道路施設に関する個別計画（インフラ）の推進に向け、国の交付金制度を活用するため、該当の交付金要綱に定められた社会資本総合整備計画を本市が作成



2 計画の概要 ～社会資本総合整備計画 防災・安全交付金①(防災安全)～

計画の名称	川崎市内における防災安全を考慮した交通空間の整備(防災・安全)
計画の目標	川崎市内における交通事故の防止や防災・減災対策による道路の安全性向上を目的とした道路交通空間の整備を推進する
計画の期間	平成31年度～令和5年度
要素事業数	基幹事業 28事業 ※次ページ参照
主な要素事業	(主)川崎府中(生田) : 歩道設置 (市)尻手黒川線 : 道路施設の修繕 (県)川崎町田ほか : 施設整備(冠水表示板など)
事業費	当初:54億5500万円 評価時:20億7600万円
計画の成果目標 (定量的指標)	①川崎市内の1000人当たり年間平均人身事故件数(削減率) 【当初(H30)現況値】 平成26年～平成30年平均 : 2.34件/1,000人 【最終(R 5)目標値】 平成31年～令和 5年平均 : 2.17件/1,000人 (7%削減) ②川崎市内で「道路冠水注意箇所マップ(国土交通省)」に該当するアンダーパス部(※)の冠水表示板等設備の整備率(新設及び更新) 【当初(H30)現況値】 22% 【最終(R 5)目標値】 100%

※該当のマップに示された10箇所のうち1箇所については、当初計画時点において周辺地域の開発が予定されていたため除外(事業番号A01-020)

2 計画の概要 ～社会資本総合整備計画 防災・安全交付金①(防災安全)～

事業箇所・事業内容

(主)上麻生連光寺ほか
A01-006【施設整備】

(主)川崎府中(生田)
A01-002【歩道設置】

(主)川崎府中(榎形2丁目ポンプ場)
A01-021【施設整備】 追

(市)多摩3号線
A01-024【施設整備】 追

(市)多摩7号線
A01-004【歩道設置】 (市)二子千年線
A01-019【トンネル照明更新】

(市)上小田中49号線
A01-023【施設整備】 追

(主)川崎府中
A01-020【道路冠水表示板設置】 追

(国)国道409号
A01-026【施設整備】 追

【市内一円】

(市)殿町39号線ほか
A01-013【自転車通行環境整備】 移
(県)川崎町田ほか
A01-014【自転車通行環境整備】 移
(主)川崎府中ほか
A01-015【自転車通行環境整備】 移
(国)国道409号ほか
A01-016【自転車通行環境整備】 移
(市)幸多摩線ほか
A01-028【道路照明点検】 追

(主)横浜上麻生(柿生陸橋)
A01-003【歩道設置】

(市)子母口宿河原線
A01-017【擁壁修繕】

(市)登戸新町4-2号線
A01-025【施設整備】 追

(市)尻手黒川線
A01-008【舗装修繕】

(市)堀川町1号線
A01-005【受変電設備更新】

(県)扇町川崎停車場線
A01-010【自転車通行環境整備】
A01-011【駐輪場施設整備】

(主)横浜生田(東三田)
A01-001【歩道設置】

事業名

凡 例

番号【事業内容】

追 計画途中で追加

(H 3 1 追加) : A01-020～021、(R 2 追加) : A01-022～024

(R 3 追加) : A01-025～026、(R 4 追加) : A01-027～028

移 計画途中で他計画へ移行

(R 2 移行) : 社会資本整備総合計画

「川崎市における安全で快適な
自転車通行環境の構築(防災・安全)」

● : 道路冠水注意箇所マップ該当
A01-007(7箇所)、A01-020(1箇所)

● : 道路冠水注意箇所マップ非該当
A01-007(3箇所)

(市)古市場矢上線ほか
A01-018【施設整備】

(県)川崎町田ほか
A01-007【道路冠水表示板設置】

(市)小川町線
A01-012【自転車通行環境整備】

(国)国道15号
A01-022【施設整備】 追

(県)川崎扇町停車場
A01-027【施設整備】 追

(主)東京大師横浜
A01-009【舗装修繕】

2 計画の概要 ～社会資本総合整備計画 防災・安全交付金②(無電柱化)～

計画の名称

川崎市内における防災・減災に資する無電柱化の推進
(無電柱化推進計画支援)

計画の目標

川崎市内における緊急輸送道路の無電柱化対策を行うことにより、災害時の減災に努めるとともに、通路空間の安全確保を図る

計画の期間

平成31年度～令和5年度

要素事業数

基幹事業 12事業 ※次ページ参照

主な要素事業

丸子中山茅ヶ崎線(小杉御殿工区)ほか : 無電柱化

事業費

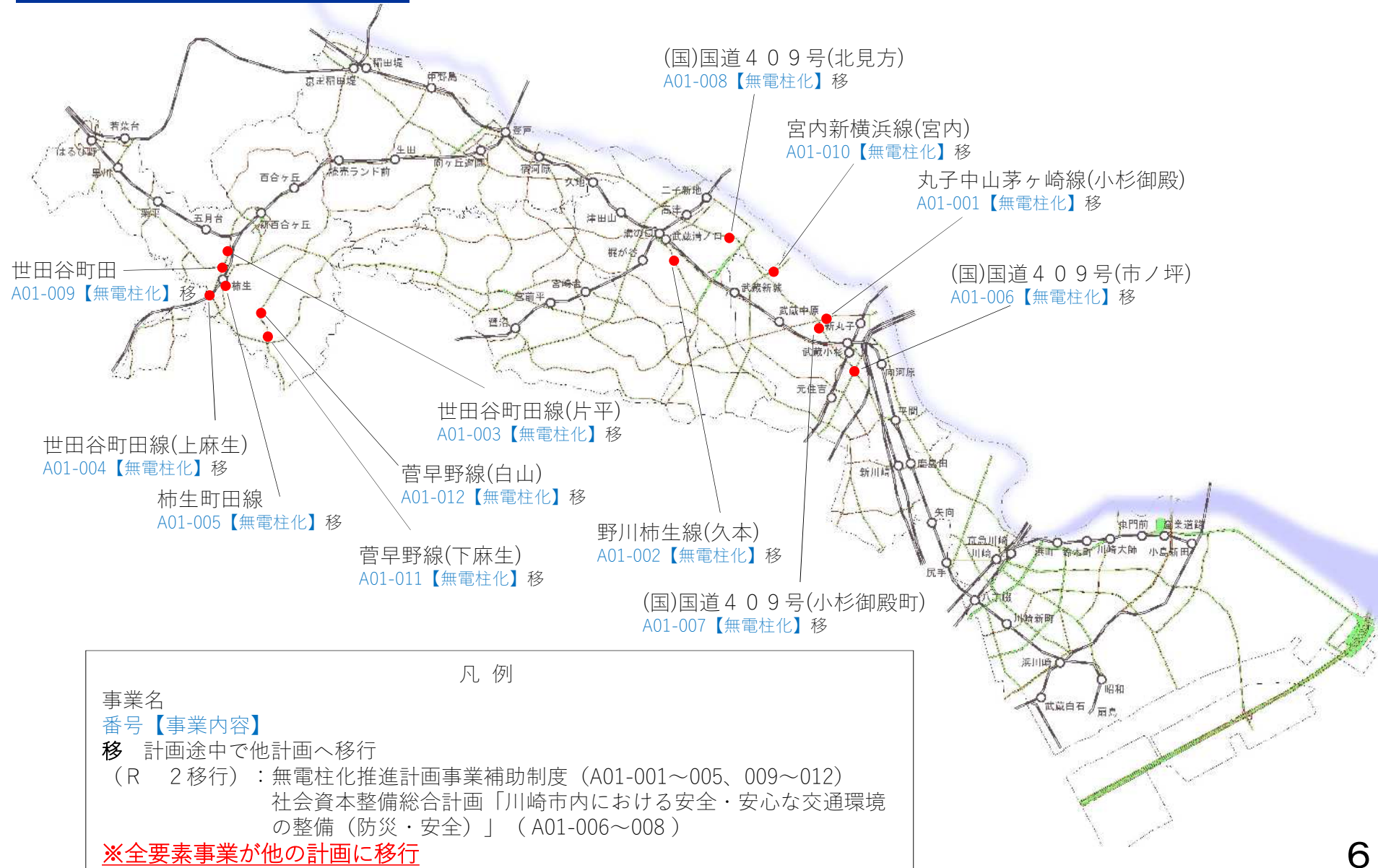
当初:121億6300万円 評価時:16億2200万円

計画の成果目標 (定量的指標)

川崎市内における第1次緊急輸送道路(市管理外を除く)の無電柱化整備率を11%から13%に向上させる

2 計画の概要 ～社会資本総合整備計画 防災・安全交付金②(無電柱化)～

事業箇所・事業内容



3『防災安全』の実施状況

3-1 事業内容

防災・減災、安全を実現するためには、「老朽化対策」、「事前防災・減災対策」、「生活空間の安全確保の取組」などの取組を順次、推進する必要がある

本整備計画において実施した代表的な事業は以下のとおり

歩道設置 【例：川崎府中(生田)】



対策前



対策後

A01-002((主)川崎府中(生田)ほか)

自転車通行環境整備 【例：扇町川崎停車場線】



対策前



対策後

A01-010((県)扇町川崎停車場線ほか)

施設整備 【例：川崎府中】



対策前



対策後

A01-020((主)川崎府中)

修繕 【例：子母口宿河原線】



対策前



対策後

A01-017((市)子母口宿河原線)

計画期間中の実施予定

事業内容		番号	要素事業名	事業延長等
分類	内容			
歩道設置	歩道設置	A01-001	(主)横浜生田 (東三田)	1.7km
		A01-002	(主)川崎府中 (生田)	0.6km
		A01-003	(主)横浜上麻生 (柿生陸橋)	0.4km
		A01-004	(市)多摩7号線	0.1km
		A01-025	(市)登戸新町42号線	0.02km
自転車通行 環境整備	自転車通行環境整備	A01-010	(県)扇町川崎 停車場線	0.4km
		A01-012	(市)小川町線	0.2km
		A01-013	(市)殿町39号線ほか	25km
		A01-014	(県)川崎町田ほか	5km
		A01-015	(主)川崎府中ほか	5km
		A01-016	(国)国道409号ほか	10km
施設整備	施設整備	A01-006	(主)上麻生連光寺 ほか	3基 (エレベーター)
		A01-018	(市)古市場矢上線 ほか	4基 (エレベーター)
		A01-021	(主)川崎府中 (榊形2丁目ポンプ場)	2基 (水中ポンプ)

事業内容		番号	要素事業名	事業延長等
分類	内容			
施設整備	施設整備	A01-022	(国)国道15号	4基 (エレベーター)
		A01-023	(市)上小田中49号線	2基 (水中ポンプ)
		A01-024	(市)多摩3号線	1基 (道路冠水管理システム)
		A01-026	(国)国道409号	2基 (水中ポンプ)
		A01-027	(県)川崎扇町停車場	2基 (水中ポンプ)
	道路冠水表示板設置	A01-007	(県)川崎町田ほか	10箇所
		A01-020	(主)川崎府中	1箇所
修繕	駐輪場施設整備	A01-011	(県)扇町川崎 停車場線	0.4km
	照明更新	A01-019	(市)二子千年線 (末長トンネル)	1トンネル
	受変電設備更新	A01-005	(市)堀川町1号線	1式
		A01-008	(市)尻手黒川線	13.4km
	舗装・擁壁修繕	A01-009	(主)東京大師横浜	5.5km
		A01-017	(市)子母口宿河原線	1式
	道路照明点検	A01-028	(市)幸多摩線ほか	点検

3-2 進捗状況(1/2)

事業内容	番号	要素事業名	用地取得率 ※当初: H30年度末 ⇒ 実績: R5年度末	当初計画からの変更概要 (事業の削除・追加を含む)	計画・ 実績	今回評価期間(年度)					次期評価期間(年度) ↓今回の事業評価					備考
						H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
歩道設置	A01-001	(主)横浜生田 (東三田)	79%⇒79%(※1)		計画 実績											継続 (※4) (次期計画)
	A01-002	(主)川崎府中 (生田)	98%⇒100%		計画 実績											完成
	A01-003	(主)横浜上麻生 (柿生陸橋)	77%⇒96%(※2)		計画 実績											継続 (※4) (次期計画)
	A01-004	(市)多摩7号線	35%⇒35%(※3)		計画 実績											
	A01-025	(市)登戸新町42号線	無(JR踏切内)	事業追加(R3)	計画 実績											完成
自転車通行環境整備	A01-010	(県)扇町川崎 停車場線	—		計画 実績											完成
	A01-012	(市)小川町線	—		計画 実績											
	A01-013	(市)殿町39号線ほか	—	別計画へ移行(R2以降)	計画 実績											※R2より社会資本総合整備 計画「川崎市市内における安全 で快適な自転車通行環境の 構築(防災・安全)」へ移行
	A01-014	(県)川崎町田ほか	—	別計画へ移行(R2以降)	計画 実績											
	A01-015	(主)川崎府中ほか	—	別計画へ移行(R2以降)	計画 実績											
	A01-016	(国)国道409号ほか	—	別計画へ移行(R2以降)	計画 実績											
施設整備	A01-006	(主)上麻生連光寺 ほか	—		計画 実績											完成
	A01-018	(市)古市場矢上線 ほか	—		計画 実績											
	A01-021	(主)川崎府中 (榊形2丁目ポンプ場)	—	事業追加(H31)	計画 実績											
	A01-022	(国)国道15号	—	事業追加(R2)	計画 実績											
	A01-023	(市)上小田中49号線	—	事業追加(R2)	計画 実績											

※1 地権者との交渉を進めているものの用地取得に至らず
なお、H31は擁壁工及び舗装工(歩道・車道)を実施
※2 地権者との交渉を進めているものの全ての用地取得に至らず
※3 地権者との交渉を進めているものの用地取得に至らず
なお、市費において、買収済箇所の暫定整備を実施

※4 第2次川崎市道路整備プログラム(令和4年2月策定)において、土地収用制度等活用路線、整備推進
路線等として位置付け、早期の完成を目指し次期計画においても取り組む予定

3-2 進捗状況(2/2)

事業内容 内容	番号	要素事業名	用地取得率 ※当初: H30年度末 → 実績: R5年度末	当初計画からの変更概要 (事業の削除・追加を含む)	計画・ 実績	今回評価期間(年度)					次期評価期間(年度) ↓今回の事業評価					備考
						H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
施設整備	A01-024	(市)多摩3号線	—	事業追加(R2)	計画 実績											完成
	A01-026	(国)国道409号	—	事業追加(R3)	計画 実績											
	A01-027	(県)川崎扇町停車場	—	事業追加(R4)	計画 実績											
道路冠水表示板設置	A01-007	(県)川崎町田ほか	—		計画 実績											
	A01-020	(主)川崎府中	—	事業追加(H31)	計画 実績											
駐輪場施設整備	A01-011	(県)扇町川崎 停車場線	—		計画 実績											
照明更新	A01-019	(市)二子千年線 (末長トンネル)	—		計画 実績											
受変電設備更新	A01-005	(市)堀川町1号線	—		計画 実績											完成
舗装・擁壁修繕	A01-008	(市)尻手黒川線	—		計画 実績											
	A01-009	(主)東京大師横浜	—		計画 実績											
	A01-017	(市)子母口宿河原線	—		計画 実績											
道路照明点検	A01-028	(市)幸多摩線ほか	—	事業追加(R4)	計画 実績											

- ・本整備計画において、移行した4事業を除いた工事23事業、点検委託1事業の合計24事業を実施
- ・計画期間内に完成しなかった3事業(A01-001、A01-003、A01-004)については、用地交渉の難航や関係機関との調整等が遅延の一因であるため、川崎市道路整備プログラム等に基づき、引き続き地権者等との交渉を進める
- ・その他の継続1事業(A01-028)については、川崎市道路維持修繕計画に基づき、定期点検を実施する

3-3 目標達成状況

定量的指標1：年間平均人身事故件数を現況値から7%削減する

定義及び算定式

川崎市内の1,000人当たり年間平均人身事故件数を現況値(2.34件/1,000人 ※平成26年～平成30年平均)から令和5年までに7%削減する。(2.17件/1,000人 ※平成31年～令和5年平均)

年間平均人身事故件数削減率(%)

$$(\text{前計画の平均事故件数} - \text{本計画の平均事故件数}) / \text{前計画の平均事故件数} \times 100$$

目標値：7(%)削減



結果：(2.34件－1.80件) / 2.34件
× 100 = 23(%) 削減

【達成】

達成状況に対する所見

「川崎市内の1,000人当たり年間平均人身事故件数の削減率」は23%となり、目標値(7%)を達成した。要因としては、本整備計画における対策の他に、交付金の対象外となる対策等を市費で実施したことによって歩道の安全対策が充実してきたことによる整備効果が実績値に反映されたものと考えられる。

※引用元

- ・市内の事故件数については、神奈川県警のデータを基数とした数値。
- ・本市の人口については、国勢調査(令和2年度確定値)を基数とし、以後の住民基本台帳の増減を加減した推算値。

3-3 目標達成状況

定量的指標2: アンダーパス部の冠水表示板等設備の整備率を100%とする

定義及び算定式

川崎市内で道路冠水注意箇所マップに該当するアンダーパス部の冠水表示板等設備の整備率(新設及び更新)を22%から100%まで増加させる。

冠水表示板等の整備率(%)

冠水表示板等施設の整備済箇所数 / 冠水表示板等整備の必要箇所数 × 100

目標値 : 100 (%)



結果 : 9箇所 / 9箇所 = 100 (%)※

【達成】

達成状況に対する所見

気候変動によるゲリラ豪雨や大雨等が増加傾向にある中、目標通りに整備が進められたことは、市民の安全等に大きく貢献できたものとする。

※ 当初計画において、国の作成したマップに示されていた10箇所のうち、1箇所を除外(周辺地域の開発を予定)した9箇所の整備率を測る指標。9箇所のうち整備済みであった2箇所(当初現況値:22%)に加え、残り7箇所を整備することで整備率100%とすることを本計画の目標として設定

ただし、当初計画において除外していた1箇所の整備が可能となったことをうけ、H31年度に計画変更を行い、当該箇所(事業番号A01-020)を追加し、本計画期間中に整備を完了できたことから、国の作成したマップに示された全10箇所について整備が完了

4『無電柱化』の実施状況

4-1 事業内容

無電柱化による防災・減災対策及び生活空間の安全を確保するため、計画的に事業を進める必要がある
本整備計画において実施中の代表的な事業は右記のとおり

電線類地中化【例:(主)世田谷町田】



A01-009((主)世田谷町田)

計画期間中の実施予定

事業内容		番号	要素事業名	事業延長等	事業内容		番号	要素事業名	事業延長等
分類	内容				分類	内容			
電線類地中化		A01-001	丸子中山茅ヶ崎線 (小杉御殿)	1.4km	電線類地中化		A01-007	(国)国道409号 (小杉御殿町)	2.2km
		A01-002	野川柿生線 (久本)	1.8km			A01-008	(国)国道409号 (北見方)	1.6km
		A01-003	世田谷町田線 (片平)	2.6km			A01-009	(主)世田谷町田	0.6km
		A01-004	世田谷町田線 (上麻生)	0.8km			A01-010	宮内新横浜線 (宮内)	1.4km
		A01-005	柿生町田線	0.6km			A01-011	菅早野線 (下麻生)	1.1km
		A01-006	(国)国道409号 (市ノ坪)	1.2km			A01-012	菅早野線 (白山)	0.2km

4-2 進捗状況

番号	要素事業名	用地取得率 ※当初：H30年度末 ⇒ 実績：H31年度末 (参考：括弧内R5年度末)	当初計画からの変更概要 (事業の削除・追加を含む)	計画・ 実績	今回評価期間(年度)					次期評価期間(年度)					次期計画
					H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
A01-001	丸子中山茅ヶ崎線 (小杉御殿)	86%⇒86% (R5年度末：91%)	別事業へ移行(R2以降)	計画 実績	→	→	→	→	→						※R2より個別補助事業 (無電柱化推進計画事業)へ移行
A01-002	野川柿生線 (久本)	29%⇒31% (R5年度末：48%)	別事業へ移行(R2以降)	計画 実績	→	→	→	→	→						
A01-003	世田谷町田線 (片平)	96%⇒100%	別事業へ移行(R2以降)	計画 実績	→	→	→	→	→						
A01-004	世田谷町田線 (上麻生)	0%⇒0% (R5年度末：31%)	別事業へ移行(R2以降)	計画 実績	→	→	→	→	→						
A01-005	柿生町田線	65%⇒65% (R5年度末：71%)	別事業へ移行(R2以降)	計画 実績	→	→	→	→	→						
A01-006	(国)国道409号 (市ノ坪)	95%⇒96% (R5年度末：98%)	別計画へ移行(R2以降) R4事後評価実施	計画 実績	→	→	→	→	→						※R2より社会資本整備 総合計画「川崎市市内に おける安全・安心な交 通環境の整備(防災・ 安全)」へ移行
A01-007	(国)国道409号 (小杉御殿町)	35%⇒43% (R5年度末：54%)	別計画へ移行(R2以降) R4事後評価実施	計画 実績	→	→	→	→	→						
A01-008	(国)国道409号 (北見方)	11%⇒11% (R5年度末：16%)	別計画へ移行(R2以降) R4事後評価実施	計画 実績	→	→	→	→	→						
A01-009	(主)世田谷町田	100%⇒100%	別事業へ移行(R2以降)	計画 実績	→	→	→	→	→						※R2より個別補助事業 (無電柱化推進計画事業)へ移行
A01-010	宮内新横浜線 (宮内)	38%⇒42% (R5年度末：57%)	別事業へ移行(R2以降)	計画 実績	→	→	→	→	→						
A01-011	菅早野線 (下麻生)	82%⇒86% (R5年度末：98%)	別事業へ移行(R2以降)	計画 実績	→	→	→	→	→						
A01-012	菅早野線 (白山)	98%⇒98% (R5年度末：100%)	別事業へ移行(R2以降)	計画 実績	→	→	→	→	→						

本整備計画において、工事・用地取得等の合計11事業を実施
無電柱化推進計画の策定に伴い、令和2年度より新設された個別補助制度及び
他の整備計画へ移行

4－3 目標達成状況

定量的指標1：無電柱化の整備率を11%から13%に向上させる

定義及び算定式

川崎市内における第1次緊急輸送道路（市管理外を除く）の無電柱化整備率を11%から13%に向上させる

第1次緊急輸送道路の無電柱化整備率(%)

第1次緊急輸送道路の無電柱化済延長／第1次緊急輸送道路延長 × 100

目標値：13(%)



結果(H31年度時点の数値)：11(%)

【未達成】

参考値(R5年度時点の数値)：11(%)

令和2年度より個別補助制度や他の整備計画に移行し、事業を推進中

達成状況に対する所見

本計画期間内において個別補助制度や他の整備計画に移行したが、防災・減災に資する無電柱化の実現に向けた用地買収率の向上等、一定の進捗があったといえる。なお、移行先において事業を推進中であるが、令和5年度時点で工事及び用地取得を実施中であり、当初の現況値と変わらない状況である。

5 事業者・市民等意見募集の結果

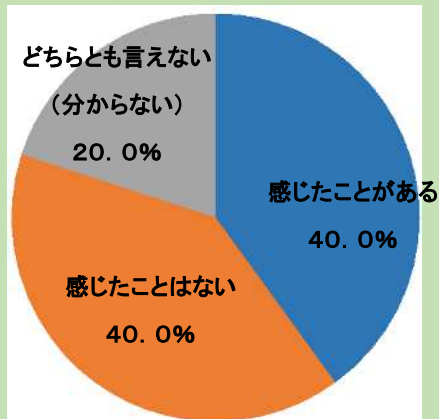
5か年の計画目標期間が終了したことから、道路を利用している事業者及び市民に各種整備の効果等を確認するため、2計画の代表的な事業箇所図や実績等を配布して、市民意見募集を実施

5-1 事業者アンケートの結果

- 神奈川県トラック協会川崎サービスセンター、神奈川県タクシー協会川崎支部、バス事業者5社にアンケートを実施
- 実施期間：令和6年8月23日～9月20日
- 回答数：タクシー協会6件、バス事業者4件 合計10件の回答

代表的な質問に対する回答

Q2：川崎市内の道路において車での走行中、以前に比べて（※1）道路整備の効果を感じたことはありますか？



Q6：これからの道路整備や道路施設の維持管理に対して、御意見や御要望、アイデア等がございましたら、御自由に御記入ください。

- 道路整備、施設、管理は良く行われていると感じるが、自転車運転について厳しく取り締まりや規制を行う事が大切に思われます。
- 自転車の関連する事故が増加傾向にあることから、自転車通行環境および法（規則）やルールの整備も必要であると思います。

※1 以前に比べてとは、H26～H30を示す

5-2 市民アンケートの結果

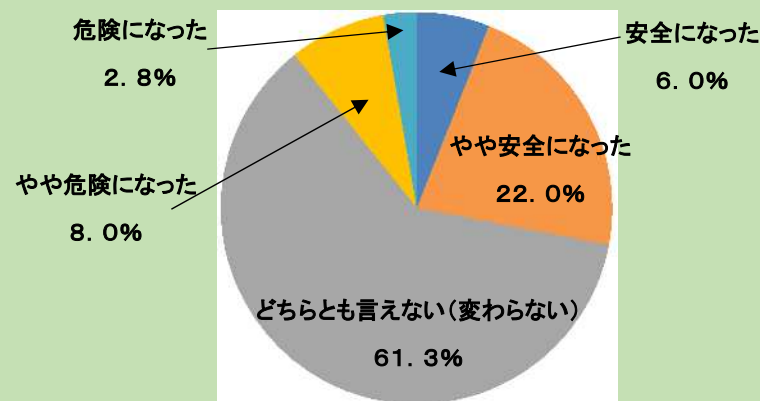
○インターネットリサーチ会社経由にて市内在住登録者にWebアンケートを実施

○実施期間: 令和6年9月3日～4日

○回答数: 400サンプル

代表的な質問に対する回答

Q7: 歩行者の安全性向上について、お考えが一番近いものを1つ選んでください



				安全になった	やや安全になった	どちらとも言えない (変わらない)	やや危険になった	危険になった
全 体		TOTAL 割合(%)	400 100.0	24 6.0	88 22.0	245 61.3	32 8.0	
性 別	男 性	TOTAL 割合(%)	288 100.0	19 6.6	71 24.7	169 58.7	19 6.6	
	女 性	TOTAL 割合(%)	112 100.0	5 4.5	17 15.2	76 67.9	13 11.6	
年 代 別	20代	TOTAL 割合(%)	15 100.0	0 0.0	1 6.7	13 86.6	1 6.7	
	30代	TOTAL 割合(%)	23 100.0	2 8.7	6 26.1	14 60.9	0 0.0	
	40代	TOTAL 割合(%)	54 100.0	2 3.7	11 20.4	36 66.7	4 7.4	
	50代	TOTAL 割合(%)	155 100.0	8 5.2	30 19.4	104 67.1	10 6.5	
	60代	TOTAL 割合(%)	115 100.0	5 4.3	33 28.7	58 50.4	13 11.3	
	70代	TOTAL 割合(%)	33 100.0	6 18.2	7 21.2	16 48.5	4 12.1	
	80代	TOTAL 割合(%)	5 100.0	1 20.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	

事業者・市民等意見募集結果に対する所見

事業者アンケートでは、4割の事業者が、安全性の向上などの道路整備の効果を感じている結果となった。

市民アンケートでは、「安全」と感じている方が、「危険」と感じている方を上回っているものの「どちらとも言えない」との回答が半数以上(約6割)を占める結果となった。

「危険(※)」と感じるとの意見も一定数あることも踏まえ、道路利用者の安全性等の向上に向けて、事業の他にソフト対策(マナーアップ向上)を行う必要がある。

※自転車運転に関する「危険走行」や「安全意識の低下」といった自転車の交通ルールやマナー等の徹底に関する意見が寄せられたもの。

6 総合的な所見及び今後の方針

6-1『防災安全』

総合的な所見

「老朽化対策」、「事前防災・減災対策」、「生活空間の安全確保」をバランスよく取り組んだ結果、定量的指標の目標値を達成することができた。この成果により、人身事故の防止及び防災、減災対策による道路の安全性向上について効果があったといえる。

また一方で、市民意見募集の結果から、市民等の実感には繋がっていないことも確認された。

今後の方針

市民の方々が安心して生活できるように、日常の道路施設の点検（パトロール）等を通じて、現状を把握し、自転車利用者のマナー向上等のソフト対策とともに、人身事故の未然防止に向けた事故の要因や利用状況等の分析を行い、市民の実感に繋がる効果的な整備に取り組むとともに防災、減災対策を引き続き進める。

6-2『無電柱化』

総合的な所見

令和2年度に全ての要素事業が、別の事業等（個別補助制度「無電柱化推進計画事業」及び社会資本総合整備計画「川崎市内における安全・安心な交通環境の整備（防災・安全）」）へ移行した結果、指標（無電柱化整備率）の向上には繋がらなかったが、防災・減災に資する無電柱化の実現に向けて用地買収率の向上等、一定の進捗があった。なお、移行先において、事業を進めているが、無電柱化整備の完了には至っていない。

今後の方針

移行した個別補助制度や他の整備計画において、「安全で快適な歩行空間の確保」、「都市防災機能の向上」等を目指し、事業を進める。